

令和4年3月14日

成田空港記者会 各位

各報道機関 御中

広報とみさと号外「末廣農場」発行のお知らせ

観光・交流拠点施設「末廣農場」のオープンに先立ち、「末廣農場」の名前の由来や歴史などを市民の皆様幅広く知っていただくため、広報とみさと号外として別紙のとおり発行します。

号外は、フルカラー4ページの構成です。3月15日（火）の新聞朝刊に折り込みます。

また、3月14日（月）に市内公共施設等に配架します。

総務部広報情報課

担当： 枝村、根本

電話： 0476-93-1119

FAX： 0476-93-7810

E-mail info@city.tomisato.lg.jp



【本紙含めて5枚】

すえひろのうじょう

末廣農場

—号外—
広報
とみさと

かつて富里にあった広大な農場が・・・



よみがえ
形を変えて現代に甦る



富里市ではじめての
観光・交流拠点施設「末廣農場」

表紙タイトル
日本大学芸術学部作

「末廣農場」 すえひろのうじょう とは



【とみちゃん】

観光・交流拠点施設「末廣農場」ってなんでその名前なんだろう？
あれ？僕たちが住んでいる今の富里に「末廣農場」ってないよね？
なんでだろう？

当時の末廣農場についてお話ししましょう。

私は三菱の三代目社長の「岩崎久彌^{いわさきひさや}」です。

明治20年、私の父「初代社長 岩崎彌太郎^{いわさきやたらう}」の弟が、当時の末廣農場を、
牧畜を目的として購入したのです。

私は、本業の傍ら、かねてから「我が国の模範的実験農場を作りたい」
という夢があり、当時では、最新の設備や機械を導入することで、
先進的農法を実践しました。



いわさきひさや
【岩崎久彌】

写真所蔵：三菱資料館



【とみちゃん】

日本の農政研究に多くの功績を遺した、すごい農場だったんだ！
よし！末廣農場について勉強してみよう！！

昭和21年の末廣農場範囲



ちょっとした豆知識
当時の地元の人は、末廣農場の土地の形が扇形で、末広がりだったことから「末廣の野原」と呼んでいました。



技術力・信頼性の高さ／農場経営の理想形



大 正時代の末廣農場では、特に養鶏・養豚に力が注がれました。最盛時には、8,000羽の養鶏、年間1,000頭の養豚が飼育されていたと言われています。また、この当時では珍しい、ハム、ソーセージ、ベーコンなどの加工食品の自家生産も行われていました。



鶏の放飼いと孵卵舎



豚の放飼



管理用番号が付けられた鶏



種豚 (中ヨークシャー種)

農 作物では主に大豆や小麦を生産していました。当時、収穫が難しかった大豆の多収穫方法を確立させました。

当時の末廣農場の実績が認められ、千葉県農事試験場では、白菜や西瓜の原種及び原種栽培を委託していました。



原々種西瓜の栽培



米国製のトラクターの使用



馬車に乗る久彌氏

写真所蔵：橋家

当時の末廣農場で力を注がれた養豚やすいかの種などは、現代の富里の農業発展に大きく関わっています。

末廣農場が築いた歴史・技術が地域に受け継がれ、富里は農産物の一大産地となっています。

観光・交流拠点施設「末廣農場」の名前の由来は、千葉県における近代農業発祥の地であった「末廣農場」を継承していくために付けられたものです。

末廣農場は千葉県の

近代農業発祥の地

末廣ブランドを目指して



観 光・交流拠点施設「末廣農場」では、かつての「末廣農場」から引き継がれた、市内の豊かな農畜産物やその加工品などの販売、また、それらを利用した料理の提供を予定しています。



たまご

すりか

ぶた

明治

大正

昭和

平成

令和

継承



「末廣農場」施設内イメージ図

